



# 新たな伝統と絆を築けた体育祭

9月16日、絶好の秋晴れのもと、福山中・高等学校第8回体育祭が行われました。最初に来賓、保護者、教職員が見守る中、吹奏楽部の演奏に合わせて、選手が入場しました。旗手は、5年大平新生徒会長が務めました。続く開会式では6年青木旧生徒会長が「己の精神力と体力の限りを尽くし、互いに尊重し合うと共にこのような祭典が開けることに感謝して最後まで頑張ります。」と力強い選手宣誓を行い、5年生女子演舞から各種目がスタートしました。



6年 力強い選手宣誓 (青木君)

今年度から「市立に新たな伝統を築く」ということで始められた高校応援合戦では各色、リーダーが中心となり限られた時間の中で仲間と協力し、趣向を凝らした演技を行い、体育祭を大いに盛り上げてくれました。中学校の応援合戦ではこれまで培われた伝統をもとに3年応援リーダーが中心となり、まだあどけなき残る1年を率い力強い演技を見せてくれました。今後は後輩がこれらを受け継ぎ、応援合戦を市立の伝統としてさらに迫力ある、美しいものへと高めてくれることに期待します。



高校応援合戦の風景 (赤組)

今年の体育祭、一番の成果は何といっても中高生の絆がこれまで以上に深められ、生徒の良い笑顔をたくさん見ることができた点にあります。中学生の綱引きの時、高校の各色応援団が他の高校生を率いて一体となり大きな声を出し応援してくれる姿は昨年まではあまり見られないものでした。これは高校応援

団を創設した一つの成果だと思います。体育祭という学校行事を通じ、中高生の心が一つになれたことを嬉しく思います。また、そうした体育祭にしてくれた生徒の皆さんに心から感謝します。今後、生徒は体育祭での頑張る姿を学習や部活動に活かすようにしてください。最後になりましたが、暑い中、熱心に応援してくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。

## 中学生が感動で「涙」した解団式

体育祭終了後、中学生は3年生の応援リーダーを中心に赤・青・緑が各色に分かれ、応援団の解団式を行いました。勝ち負けあっても、ここまで喜びを共にし、これまでの頑張りを互いが認め合い、苦労をねぎらえる集団の素晴らしさに見ていて感動しました。生徒会をはじめ応援リーダーのみなさんに感謝します。この頑張りを是非、修学旅行や新人総合体育大会に活かしてください。



中学応援の部 優勝(赤組解団式)

## これから受験に臨む、6年生のみなさんへ

体育祭も終了し、いよいよこれから6年生にとっては正念場となる季節です。体育祭終了後、グラウンドで持たれた学年集会では先生方からセンター試験等、進路に向けての心構えをはじめ、取り組みについて次の三点が告げられました。

- 目標は高く持ち、最後まで諦めることなく取り組む。
- 受験は個人戦ではなく団体戦である。6年が一丸となりチームで取り組む。
- 受験に勝利するためには学校の授業及び補習を大切にに取り組む。

この8月、卒業生が母校訪問に来た時、話してくれたことを紹介します。

「受験勉強をしていると、思うように成績が上がらず、不安になり、孤独を感じて、勉強が手に付かなくなる時があった。そんな時、力になってくれたのは一緒に放課後、教室で励まし合いながら勉強してくれた友達だった。」

易きに流れることなく、自分を信じ、自己に打ち勝ち、目標の達成に向け邁進して下さい。6年生の頑張りに期待しています。